

青森中央学院大学 青森中央学院大学大学院 青森中央短期大学

青森中央経理専門学校 青森中央文化専門学校

図書館利用案内

はじめに

本学図書館は、本学学生が自ら問題意識を深めて学習を継続し、明日を創造する能力を育む場であるとともに、学外の地域住民に向けて、地域の生活と文化を創造する新しい生涯学習の場として開放されている。

図書館には、サイレントスペースとラーニング・コモンズスペースがあり、サイレントスペースは静寂を保ち自習する空間、ラーニング・コモンズスペースは自由な発想で学修するための総合的学修の空間である。

利用方法

(1) 開館時間

午前 8 時 30 分～午後 8 時（土曜日は午前 8 時 50 分～午後 5 時）

※ 春季・夏季及び冬季の休業期間中は午前 8 時 50 分～午後 5 時とする。

カウンターの受付時間は、閉館時間の 15 分前までとする。

(2) 休館日

日曜・祝祭日（一部除く）、休業期間中の土曜日、年末年始

※ その他臨時の休館日、開館・閉館時間の変更については、その都度事前に HP、掲示板、ポータルサイトに掲示する。

(3) 利用上の注意

図書館の利用に際しては、以下の注意事項を厳守すること。注意事項を守らないときには、図書館の利用を禁止します。

① 「図書館利用証（本学学生は学生証）」を不携帯の場合、利用不可とする。

* 学外利用者は、図書館の利用に際し、窓口にて登録をし、図書館利用証の交付を受けなければならない。現時点では、図書館利用証の発行は無料である。

② 館内では静粛を保ち、食事・喫煙、携帯電話・スマートフォンの使用（通話・撮影・音を出す行為）は禁止する。

③ 蓋付きの飲み物の持込は可能であるが、図書等を汚さないよう十分注意すること。

④ 図書館資料、機器、施設等を汚したり壊したりしないこと。

⑤ 机・椅子等の備品をみだりに移動しないこと。

⑥ 机の上にカバンを放置しないこと。

⑦ その他、他の利用者の迷惑となる行為をしないこと。

※ 迷惑行為・マナー違反、その他職員の指示に従わない場合、ペナルティ対象となる。

(4) 館内閲覧

3階の図書・雑誌・新聞等は、開架（公開書架）方式で配架されているので自由に取り出して閲覧することができる。但し、閲覧後は、必ず元の場所（戻す場所が不明な場合は返却棚）に正しく戻すこと。閉架への学生への出入りは禁止する。

(5) 館外貸出

- ① 図書を館外に帯出する場合には、自動貸出機で館外貸出手続きをとること。
- ② 手続きしないで図書を館外に持ち出そうとすると、出口の無断帯出防止装置のアラームが鳴り、出口が開かない。
- ③ レファレンスブック、辞書等の参考図書、雑誌、新聞、紀要、CD/DVD-ROM、CD、ビデオ、DVDの視聴覚資料等の館外貸出は行わない。

(6) 貸出冊数と貸出期間

貸出冊数と貸出期間は以下のとおりである。

区 分	冊 数	期 間
学部生・一般	5冊以内	2週間以内
大 学 院 生	10冊以内	1ヵ月以内
教 職 員	20冊以内	1ヵ月以内

(7) 返却・期間の更新

- ① 借りた図書は返却期限までに自動貸出機にて返却手続きを行うこと。返却期限に遅れた場合、カウンターに申し出ること。遅れた日数分（開館日にて算出）、貸出等の利用が出来なくなるので留意する。
- ② 延滞日数が100日を越えた場合は、代価にて弁償となる。
- ③ 返却期限内に図書を返却し、他に予約者がなければ貸出期間は1回に限りカウンターにて更新することができる（電話での申込は不可）。

(8) 紛失等の事故

図書等を紛失または汚損した場合は、速やかに申し出ること。原則として現物または代価をもって弁償しなければならない。

(9) 購入希望図書(リクエスト) 【対象者：学生】

当館に所蔵してほしい希望図書・映像資料がある場合は、カウンターに申し出て、リクエスト用紙をもらい、必要事項を記載し提出すること。

(10) 利用状況照会サービス【対象者：学生・教職員】

図書館のホームページから、今自分が借りている図書や返却日を確認できる。また、貸出中の図書の予約や、返却日等のメール連絡を受けることができる。

(11) コピーサービス

当館で所蔵する資料に限り、著作権法に定められた範囲内で、セルフサービスにて複写することができる。コピー機複写申込書の記入が必要となる。

■複写料金　：白黒　　1枚　10円（B5・A4・B4・A3）
 カラー　 1枚　40円（B5・A4・B4・A3）

※原則として、館内の複写機で、ノートやプリント類を複写することは禁止する。

【著作権法の規定】（要旨）

- ・複写の目的－調査、研究
- ・複写の部数－1人1部のみ
- ・複写の範囲

図書…著作物の半分以下。著者の異なる複数の著作物によって1冊が形成されている場合は、各々の著作物の半分以下。

雑誌・新聞…最新号は、個々の論文・記事の半分以下。

バックナンバーは、個々の論文・記事の全部。

(12) 視聴覚閲覧コーナー

当館で所蔵するビデオ・DVD等の視聴覚資料を視聴覚閲覧コーナーで利用できる。利用の際は、カウンターに申し出、図書館利用証と引換えに貸出を受けるものとする。使用後は必ず、使用前（テープの巻戻し等）の状態にして返却すること。また、持ち込みの資料を閲覧することができる。

(13) グループ学修室【対象者：学生・教職員】

少人数でのグループミーティング時に利用できる。利用申込書を記入の上、学生証とともにカウンターに提示すること。講義での利用が優先となる。

※現時点では、学外利用者のみでの申込はできない。

(14) 研究個室【対象者：学生・教職員】

1人で集中して学習・研究したい時に利用できる。利用申込書を記入の上、学生証とともにカウンターに提示すること。

(15) CD-ROM の利用

CD-ROM（一部 DVD-ROM を含む）は、デジタル化された情報がコンパクトディスクに大量に収められた電子出版物で、利用の際は、カウンターに申し出ること。

(16) ノートパソコンの館内貸出【対象者：PC 必携化対象学生以外】

図書館利用証をカウンターに提示し、貸出続きを行なうこと。利用可能時間は、開館時間～閉館時間の 15 分前まで、貸出受付は、閉館の 1 時間前までとする。

1 回の貸出時間は 4 時間までとし、長時間利用しない場合や昼休み等で館外に出る場合には、カウンターにその旨申し出て、必要に応じて返却すること。その他、図書館職員の指示に従うこと。

(17) 青森県立図書館との連携【対象者：学生・教職員】

○図書返却サービス

青森県立図書館から借りた図書を、本学の図書館に返却することが出来る。県立図書館から借りる際、本学図書館で返却する旨を、カウンター職員へ伝えること。本学へ返却する際は、専用の返却袋に入れて図書館カウンターへ申出ること。

○相互貸借サービス

本学図書館にない図書で、青森県立図書館にある図書を取り寄せて借りることが出来る。図書館カウンターにて申し込み用紙に記入し提出すること。取り寄せに二週間程度かかるため、急を要する場合は、直接、青森県立図書館を利用すること。図書が到着次第、Teams のチャットにて連絡する。取り寄せサービスで借りた図書は、必ず、本学図書館カウンターへ返却すること。

- ・一人 5 冊まで取り寄せ可能。
- ・貸出期間は到着連絡の翌日から 10 日間とする。

(18) 相互貸借サービス

学内に所蔵していない資料は、図書館を通じて、他機関の資料を利用することができる。

- 文献複写 …… 他機関へ文献の複写が依頼できる。
- 現物貸借 …… 他機関所蔵の資料を借りることができる。借用資料は本学図書館内閲覧に限定される（原則、雑誌の貸出は出来ない）。

利用申込用紙に必要事項を記入の上、図書館カウンターに提出すること。サービスの提供を受けた過程で発生した必要経費は各自の負担となる。依頼は、1グループにつき、1回3件まで。終了後、再依頼可能とする。

依頼文献・図書が到着次第、Teams のチャットにて連絡する。

(19) その他

図書館からのお知らせは、インターネット上の図書館ホームページまたは Twitter において告示する。

ホームページ <https://www.aomoricgu.ac.jp/library>

X (旧 Twitter) アカウント @AcguAcjcLib



オンラインデータベース

図書館のホームページよりアクセスできる。

(1) 朝日新聞クロスサーチ

朝日新聞クロスサーチは朝日新聞社が提供するオンライン記事検索サービスである。1985年以降の記事は全文検索方式で、テキスト本文を表示して読むことができる。朝日新聞デジタル（一部のコラムなど）や雑誌「AERA」「週刊朝日」の記事も収録されている。

<https://xsearch.asahi.com/>

(2) Westlaw

Westlaw はリーガルリサーチにおいて必要となる多岐にわたる法律情報、資料群・法令、判例、審決等、書籍・雑誌、文献情報、ニュース記事・を過去から最新情報まで収録し、多彩な検索・表示機能とともに提供する情報総合オンラインサービスである。

<https://go.westlawjapan.com/wljp/app/signon/trauth?sp=aomoricgu-1>

(3) 医学中央雑誌 Web

医学中央雑誌基本データベースの内容は、国内で発行される医学、歯学、薬学、及び看護学などの関連領域の定期刊行物、2,301誌（2005年データベース収録数）から採択されている。なお、収録誌の総数は、改題や休刊・廃刊した雑誌を含め約4,700誌（1983年作成データから現在まで）。

<http://login.jamas.or.jp/>

(4) メディカルオンライン

医学文献の検索・閲覧、及び文献全文をダウンロード提供する医療総合 Web サイト。日本国内の学会・出版社発行の雑誌に掲載された医学、歯学、薬学、看護学、医療技術、栄養学、衛生・保健などのあらゆる医学関連分野の「医学文献」から検索し、必要な文献はその場で全文閲覧・ダウンロードが可能。

<http://www.medicalonline.jp/>

(5) 最新看護索引 Web

国内唯一の、看護分野に限定した、初心者の方にも使いやすい雑誌文献情報データベース。日々の実践や研究に役立つ看護系の国内雑誌文献を簡単に探すことができ、看護学生の文献検索・レポート作成や卒業研究などをサポートできる。

<http://jk04.jamas.or.jp/kango-sakuin/>